

医療法人救友会 2019 年度理事会の報告

【日 時】 2019 年 7 月 6 日(土)18 時 00 分～

【場 所】 湘南メディケア真田センター会議室

【議 案】

1. 1 号議案 2018 年度（11 期）事業報告
2. 2 号議案 2018 年度（11 期）決算報告
3. 3 号議案 2019 年度（12 期）事業計画
4. 4 号議案 2019 年度（12 期）事業予算

【役 員】

理事長 山本 五十年
監 事 猪口 貞樹 （社会医療法人 Japan Medical Alliance 顧問）
理 事 中丸 真志 （湘南真田クリニック 院長）
理 事 鈴木 紳一郎（財団法人同友会理事長、藤沢湘南台病院 総院長）
理 事 岸部 宏一 （横浜医療法務事務所 代表）
参 与 西 仙浩 （株式会社メディトピア湘南 取締役）
参 与 戸崎 剛 （エア・ウォーター株式会社 医療カンパニー 品質安全部長）
参 与 出縄 高昭 （湘南減災科学研究所 所長）
顧 問 山本 仙子 （株式会社メディトピア湘南 代表取締役社長）
顧 問 飯田 隆三 （飯田測量設計株式会社 取締役会長、SMC 友の会会長）

I. 事業概要

- 1) 会計の見える化：財務管理システムの確立 2013 年度
- 2) 新給与体系・人事考課の導入・強化 2014 年度
- 3) SMC ルール（業務分掌、職務権限）の確立 2014 年度
- 4) 内部監査体制の確立 2014 年度
- 5) 個人情報管理システムの確立 2014 年度
 - ・個人情報管理規程の策定
 - ・全職員を対象とした研修会の開催
- 6) 危機管理・リスクマネジメントの整備 2014 年度
 - ・安全管理委員会の運用（2 回/月）
 - ・ヒヤリハット/アクシデントレポートの運用
- 7) 湘南メディケア真土センターの開設：2015 年度
- 8) 医療法人倫理委員会および設置規程の策定 2015 年度
- 9) 湘南メディケア経営運営体制の確立 2017 年度
 - ・SMC 運営規則、作業部会細則の策定
 - ・SMC 経営委員会の運用：1 回/2 ヶ月
 - ・SMC 運営連絡会議、安全管理委員会の運用：2 回/1 ヶ月
 - ・教育研究作業部会、業務改善作業部会、食の作業部会の推進
- 10) 教育研究・業務改善の推進
 - ・教育研究作業部会
 - ・研修会（1 回/月）
 - ・SMC 救命講習（2017 年度：62 名、2018 年度：9 名）：平塚市消防本部と連携
 - ・「no lifting の試み」研究発表、実地応用
 - ・業務改善作業部会
 - SMC 災害マニュアルの作成、
 - SMC サンクスカードの運用
 - ・外部研修への参加
- 11) 学術研究活動の推進
 - ・日本救急医学会総会、日本内科学会総会、日本循環器学会総会、日本形成外科学会総会、日本熱傷学会総会、日本プライマリ・ケア連合学会総会、日本臨床救急医学会総会、日本在宅医学会総会、日本救急看護学会総会等への参加・演題発表・講演（理事長/院長・中丸副院長・春成副院長・辻 医師）
 - ・JPTEC（Japan Prehospital Trauma Evaluation and Care）, ABLIS（advanced burn life support）、PBEC 熱傷病院前初期診療コースのインストラクターとして指導（春成副院長）

12) 臨床研修医教育への貢献

- ・平塚市民病院研修管理委員、海老名総合病院臨床研修管理委員の委嘱（理事長/院長）
- ・2019年度：平塚市民病院前期臨床研修への協力：2名

13) 東海大学医学部学生教育および看護学生教育への協力

- ・東海大学医学部学生講義：東海大学医学部客員准教授（理事長/院長）
- ・厚木看護専門学校の学生実習教育提供（白土課長）

14) 大学医学部付属病院への診療協力

- ・東海大学医学部付属病院非常勤職員（春成副院長）
- ・横浜市立大学医学部付属病院非常勤職員（春成副院長）

15) 災害医療協力

- ・DMAT 研修（春成副院長）

16) 神奈川県医師会・平塚市医師会への協力

- ・理事長/院長・中丸副院長・春成副院長の医師会入会
- ・理事長/院長・中丸副院長：内科部会・小児部会所属、春成副院長：外科部会所属

17) 神奈川県・湘南地区の救急医療への協力

- ・神奈川県メディカルコントロール協議会検討部会長 2015年度まで（理事長）
- ・湘南地区メディカルコントロール協議会検討部会顧問（理事長/院長）
- ・平塚市休日夜間急患センターへの協力（理事長/院長・中丸副院長・春成副院長）
- ・平塚市民病院、平塚共済病院、伊勢原協同病院、秦野赤十字病院、東海大学病院、東海大学大磯病院、済生会湘南平塚病院、国立病院機構神奈川病院、厚木市立病院、東名厚木病院等との救急医療連携
- ・退院時共同指導への参加を通じた急性期病院との連携（理事長/院長・中丸副院長・春成副院長、在宅連携室職員、SMC 訪問看護ステーション、SMC ケアステーション、SMC 居宅介護支援事業所）
- ・見学研修連携（秦野赤十字病院職員、伊勢原協同病院職員、東海大学医学部付属病院職員、済生会湘南平院病院、関西大学医学部付属病院職員）

18) 多職種連携の推進

- ・連日のSMC多職種カンファランス（医師、外来看護師、訪問看護師、作業療法士、理学療法士、介護支援専門員、訪問介護士/介護士、事務職員等：20～30名）
- ・SMC教育研究作業部会主催の多職種研修会（1回/月）
- ・退院時共同指導への参加
- ・各種サービス担当者会議への参加
- ・介護看護医療連携推進会議（定期巡回・随員対応型介護看護事業）の開催：年2回
- ・ひらつか地域介護システム会議の推進協力
- ・平塚市社会福祉協議会との協議
- ・平塚市人材育成研修会への参加（2017年度：職員9名参加）

- ・横浜中区主催 平成 28 年度在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修 講演指導
- ・各種研修会等への参画、各種講演の実施

19) 幼稚園・保育園への協力

- ・金目保育園の園児および職員の健診（理事長/院長）
- ・真田幼稚園の園児および職員の健診（理事長/院長）
- ・平塚市立旭小学校の校医登録、健診（2018年度：中丸副院長）

20) 病院研修への参画

- ・平塚市民病院小児科の自主研修（2017年度、中丸副院長）
- ・東海大学病院緩和ケア研修会（2016年度：中丸副院長、2017年度：理事長）

21) 各病院との連携・交流

- ・協力医療機関の指定
（平塚市民病院、平塚共済病院、伊勢原協同病院、秦野赤十字病院）
- ・医療法人鉄蕉会との交流（2013年度～2015年度）
- ・社会医療法人ジャパンメディカルアライアンスとの交流（2015 年度～）
- ・伊勢原協同病院の病診交流談話会への参加（2014 年度～）
- ・平塚市民病院連携医の会への参加
- ・平塚共済病院在宅研修会への参加

22) 湘南メディケア友の会との協働

- ・拠出基金の全面返還（2017年度）
- ・基金拠出に対する感謝状の発行、感謝状のガラス板の作成・公表（2017年度）

23) 湘南メディケアグループ設立 10 周年記念プロジェクト準備

- ・2019 年 2 月 1 日、紅白の小鳩豆楽の配布
- ・10年表彰：職員4名（湘南真田クリニック看護師長：小村治子、訪問看護ステーション副所長：岩本智恵美、訪問介護サービス提供責任者：中里 香、管理部主任：鎌田勝美）
- ・著書の発刊作業（「在宅医療のすすめ」、2019 年 4 月 15 日発刊予定、幻冬舎、理事長）
- ・地域包括ケアシステム構築の連携へ向けた提案（10 名連名）
- ・新規伊勢原プロジェクトの開発
- ・湘南メディケアグループ設立 10 周年記念講演会の企画（2019 年 10 月 26 日予定）

24) 湘南真田クリニックの実績

- ・診療体制

山本院長

中丸副院長（2015 年 7 月赴任）

春成副院長（2017 年 7 月赴任）

田村副院長（2019 年 4 月赴任予定）

辻 医師（非常勤：2015 年 7 月赴任、2019 年 3 月退職）

相川医師（非常勤：2016 年 12 月赴任）

阿部医師（非常勤：2018年10月就任）

・外来診療の展開

2018年度総外来患者数：14,467件

インフルエンザ対応のプロジェクト強化

形成外科対応の強化

骨密度測定機の導入、研修会2回

・在宅訪問診療の展開

2018年度 総訪問件数：5,928件

2018年度看取り件数 43件

平塚市・伊勢原市・秦野市・厚木市・大磯町・中井町への訪問診療展開

・職員体制の強化（2018年度）

常勤医師；3名、非常勤医師：3名

看護師4名（常勤1名、非常勤3名）

在宅連携室 4名（常勤2名、非常勤2名）

医事・受付職員：株式会社メディトピア湘南に委託

25) SMC 訪問看護ステーションさなだの実績

・経営基盤の強化と運営実績

2018年度 訪問看護 816人＋定期巡回・随時対応 210人

・職員体制の強化（常勤8人、非常勤2人）

・看護内容の質の向上、教育研修

・介護スタッフの指導、吸引等の処置拡大指導者の養成研修

・ひらつか地域介護システム会議の推進

・研究課題の遂行

no lift 看護介護の実践と検証

ラクチュロースの効果に関する看護研究

26) SMC 訪問介護ステーションさなだ

SMC]定期巡回・随時対応型ケアステーションひらつかの実績

・経営基盤の強化と運営実績

2018年度 延べ利用者数：337人＋定期巡回・随時対応 230人

・訪問介護内容の質の向上、教育研修

・定期巡回・随時対応型介護看護事業の推進、介護看護医療連携推進会議の推進

・ひらつか地域介護システム会議の推進

27) その他 SMCG 事業所

OSMC 居宅介護支援事業所さなだの実績

・2018年度 総利用者数：1,175人

・介護支援専門員の強化・拡大：所長1名＋常勤3名 計4名

- ・質の高いケアマネジメントの推進
- ・主任ケアマネの安定的確保、特定事業所加算施設としての強化

○地域密着型通所介護 湘南メディケアガーデン

デイサービスごしき の実績

- ・通所介護 2018年度 総利用者件数：12,449件
- ・湘南メディケアガーデンの事業実績 2018年度 3947件
- ・デイケアセンターごしきの事業実績 2018年度 8502件
- ・個別介護の質の充実
- ・看護師・作業療法士・理学療法士の採用：リハビリ機能の強化
- ・経営の継続的努力、

○メディカルホーム メディトピア真田 の実績

- ・SMC多職種協働の推進・早朝会議の強化：20～25名
- ・稼働率向上への努力 2018年度：2階 94.1% 3階 91.5%
- ・急性期病院、居宅介護支援事業所等との連携
- ・医療・介護・生活支援と一体となった尊厳ある暮らしの追求
- ・様々な行事の実現の努力
- ・NETの活用による広告

○管理部 の実績

- ・安定した事務サービスの提供
- ・「おもてなし」対応
- ・季節的变化に対応する事務部門の整備
- ・事務部門の効率的強化

【講演・口演・講義・論文等】

2015年度

- 6月 山本五十年：座長、急性期病院と在宅医療現場の連携・退院支援研修会
東海大学病院、受講者 7名参加。
- 6月 山本五十年：座長：これから必要な救急医療と在宅医療の連携、日本臨床救急医学学会総会ワークショップ。
- 6月 山本五十年：日本エンドオブライフケア協会設立記念シンポジウム講演東京。
- 8月 山本五十年：特別講演、鹿児島臨床救急研究会
- 9月 山本五十年：特別講演、秦野赤十字病院研修会
- 10月 山本五十年：特別講演、松本市医師会生涯教育講座
- 10月 山本五十年：特別講演、伊勢原協同病院研修会
- 11月 山本五十年：座長、日本職業・災害医学会特別講演

- 11月 山本五十年：講演 県央地域における救急医療の現状。 医意会。
- 12月 山本五十年：特別講演、地域包括ケアにおける救急医療と在宅医療のあり方、
沖縄県医師会医学会総会、那覇。
- 1月 山本五十年：特別講演 御津医師会（岡山市）研修会
- 2月 山本五十年：救急救命士業務実地修練（ワークショップ）,日本救急医療財団。
東京

2016年度

- 4月 中丸真志 日本内科学会総会学術集会 出席
- 5月 山本五十年 湘南地区メディカルコントロール協議会検討部会
- 6月 山本五十年 宇治徳洲会病院 救急医療講演会
- 7月 山本五十年 日本毒性学会・日本中毒学会合同シンポジウム（発表；理事長）
- 7月 SMC 友の会総会・基金返還式
- 7月 中丸 真志 国立病院機能神奈川病院連携の会出席
- 7月 山本五十年 平塚共済病院連携機関の集い
- 8月 山本五十年 東海大学地域連携講座講演会
- 8月 山本五十年 厚生労働省厚生労働科学研究事業検討会
- 9月 山本五十年 出雲地区救急業務協議会講演会
- 9月 山本五十年 中丸 真志：伊勢原協同病院病診交流懇談会
- 12月 山本五十年 横浜市中区主催平成28年度 在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修会 講演
- 1月 山本五十年 日本救急医療財団：救急救命士業務実地修練（ワークショップ）
東京。
- 1月 山本五十年 パネルディスカッション4 「救急需要対策」ー地域包括ケアシステムにおける消防機関の位置づけー。第25回救急隊員シンポジウム
- 2月 山本五十年 厚生労働省研究班会議、東京
- 3月 白土玲子：シンポジウム：終末期の食支援。神奈川県摂食嚥下リハビリテーション研究会ー第20回記念大会。

2017年度

- 4月 山本五十年：海老名総合病院救命救急センター設立記念日参加
- 4月 中丸真志 日本内科学会総会参加
- 5月 中丸真志 日本プライマリ・ケア連合学会参
- 5月 山本五十年：東海大学医学部学生講義
- 5月 山本五十年 日本臨床救急医学会座長
- 7月 春成先生、副院長として入職。
- 7月 山本五十年 東海大学病院緩和ケア研修会
- 9月 山本五十年、中丸真志、春成伸之：伊勢原協同病院病診交流談話会参加

- 9月 山本五十年：医師がお家にやってくる。平塚市地域包括支援センター平塚西主催市民講演、真田。
- 10月 山本五十年 地域包括ケア時代の救急医療の在り方～救急医＝在宅医の立場から。日本救急看護学会交流集会シンポジウム、金沢。
- 10月 辻 友篤：いま、救急ナースがすべきトリアージ～救急医の立場から。日本救急看護学会交流集会シンポジウム、金沢。
- 10月 春成信之：日本形成外科学会発表。大阪市。
- 10月 山本五十年 平塚市地域包括ケア支援センター平塚西主催講演会（吉沢）
- 10月 春成伸之、他：同種皮膚移植に依存しない広範囲熱傷の治療戦略。第45回日本救急医学会総会・学術集会。
- 10月 春成伸之 日本救急医学会評議員会、2017年10月。大阪
- 11月 山本五十年：地域包括ケア時代の地域医療と在宅医療の行方、八鹿市医師会講演、公立豊岡病院、豊岡市。
- 11月 山本五十年・中丸真志・春成伸之・白土玲子・渡辺多恵子他：平塚市人材育成研修会
- 11月 春成伸之：PBEC(Prehospital Burn Evaluation and Care)コース。東京。
- 12月 春成伸之：PBEC(Prehospital Burn Evaluation and Care)コース... 山形。
- 1月 山本五十年 救急救命士業務実地修練（ワークショップ、日本救急医療財団：東京
- 1月 春成伸之：日本熱傷学会関東地方会。
- 2月 山本五十年：シンポジウム医療・福祉・介護を育む住民の活動in伊勢原。主催：千津北倶楽部お達者、後援：伊勢原市・伊勢原市医師会。
- 2月 春成伸之：日本救急医学会社員総会参加。
- 2月 山本五十年：地域包括ケアにおける救急医療と在宅医療のあり方。愛媛県在宅講演会、松山市。
- 2月 春成伸之：学会合同シンポジウム「同時多数熱傷患者の診療戦略」。横浜市の熱傷多数傷病者事案の経験から得た課題をもとにした熱傷災害対策への展望。第23回日本集団災害医学会総会・学術集会。横浜。
- 3月 中丸真志；平塚共済病院在宅研修会 出席
- 3月 中丸真志；日本循環器学会総会 出席。

2018年度

- 4月 春成伸之：東京医科大学学生講義
- 4月 春成伸之：日本形成外科学会総会学術集会 参加。
- 4月 中丸真志：日本内科学会総会 参加
- 5月 中丸真志：平塚市民病院登録医連携の会 参加
- 5月 春成伸之：日本熱傷学会総会学術集会 参加

- 5月 春成伸之：ABLS コース
- 5月 山本五十年 より良い看取りの支援～在宅医療の観点から～、平成 30 年度第 1 回包括ひらつかにシケアマネ勉強会。
- 5月 池田記子 訪問診療について、平成 30 年度第 1 回包括ひらつかにシケアマネ勉強会。
- 6月 中丸真志：日本プライマリ・ケア連合学会総会 参加
- 6月 中丸真志：平塚市医師会総会 参加
- 6月 中丸真志：平塚共済病院登録医の会 参加
- 7月 山本五十年：東海大学医学部総合内科小澤教授就任祝賀会
- 9月 春成伸之：DMAT 資格更新
- 9月 山本五十年・山本仙子：講演：秦野市ケアプラン指導研修会
- 9月 春成伸之：横浜市 JPTEC プロバイダーコース
- 10月 阿部医師（東海大学大磯病院総合内科）、非常勤医師として勤務
- 10月 山本五十年：日本救急看護学会総会 特別講演
- 10月 山本五十年 高齢化社会と地域包括ケアシステムを見すえたメディカルコントロール、第 29 回神奈川県指示医師研修会、横浜。
- 10月 春成伸之：日本形成外科学会総会
- 11月 山本五十年：救急救命士業務実地修練（ワークショップ）、日本救急医療財団、東京。
- 11月 春成伸之：日本救急医学会総会参加
- 11月 春成伸之：日本外科感染症学会発表
- 2月 平塚市民病院前期臨床研修
- 2月 春成伸之：日本熱傷学会関東地方会参加
- 2月 春成伸之：DMAT 研修
- 2月 春成伸之：PBEC 講習会
- 2月 春成伸之：日本救急医学会社員総会

Ⅱ. 2019年度の基本方針

1. 新たな診療体制のもと、地域に根ざした医療と介護を進め、地域のシステム作りに貢献します。地域医療・介護の連携を進め、パートナーシップを高めます。
2. 湘南メディケアグループの事業所の全ての事業所が、地域住民に優しい相談センターの役割を果たし、多職種協働を進めます。
3. 行政・医師会・医療機関等と協力し、あたらしい在宅医療と福祉の輪を広げます。
4. 危機管理・リスクマネジメントの充実を図ります。
 - ・安全管理委員会の成果の上に、安全業務マニュアルを確立します。
 - ・ヒヤリハット研修会を定期的を開催します。
5. 福利厚生事業を推進します。
 - ・職員の健康管理システムの充実を図ります。
6. 教育研修を積極的に推進します。
 - ・メンバーシップ教育、「学習する組織」の研修会を開催し、社会一事業所一人が一体となった事業風土を確立します。
 - ・対人援助コミュニケーションを高め、癒すものが癒される事業を推進します。
 - ・地域に開かれた研修会を開催し、地域の発展に貢献します。
 - ・学術活動を強化し、すべての事業所が演題を発表します。
7. 人事考課を強化し、公正な昇給・昇進・昇格制度を推進します。人材を育成し、努力するものが報われるシステムを作ります。
8. 市民に分かりやすい事業を目指します。
 - ・地域の通信紙を定期的に発刊します。
 - ・インターネットを活用し、市民に開かれた事業活動を目指します。
9. 湘南メディケアグループ開設 10 周年記念事業として、「私たちの誓い」を継承し、新たなプロジェクトを推進します。
10. 湘南メディケアグループ事業所の運営指針
 - 1) 湘南真田クリニック
 - ・総合診療と専門診療の融合を進め、データベースを整備し質の高い地域医療を提供します。
 - ・機能強化型在宅療養支援診療所として、質の高い在宅医療を推進します。
 - ・多職種の協働と連携の先頭に立ちます。
 - ・最高の「臨床研修医教育」を提供します。
 - ・新たなコーディネータ集団を創始します。
 - ・看護・介護職員と切磋琢磨を図り、質の高い指示、指導・助言を展開します。
 - ・救急関連学会、内科関連学会、プライマリー連合学会、日本在宅医学会、在宅医療推進フォーラム 全国在宅療養支援診療所連絡会全国大会等に積極的に参加します。

2) SMC訪問看護ステーションさなだ

- ・訪問看護の質の向上を図り、職員の成長を育み、優れた訪問看護事業所に高めます。
- ・質の高い訪問リハビリテーションを推進します。
- ・介護スタッフに適切な教育指導を行い、看護-介護の有機的な連携を図ります。
- ・看護学生に対する研修教育に積極的に参画し、学生教育を進めます。
- ・機能強化型訪問看護ステーションを維持し、ステーション機能を高めます。
- ・地域看護の展開を通して、地域のシステム作りに貢献します。
- ・日本在宅医学会、在宅医療推進フォーラム等の学術活動に積極的に参加します。

3) SMC訪問介護ステーションさなだ

SMC定期巡回・随時対応型ケアステーションひらつか

- ・訪問介護職員のチームワークとフットワークを高め、介護職として誇りと専門性を発展できるように、訪問介護の質の向上を図ります。
- ・職員の資質の向上を図り、職員の成長を育み、優れた事業所に高めます。
- ・看護スタッフとの連携を強くし、看護-介護の有機的な連携を図ります。
- ・積極的に地域介護を進め、地域のシステム作りに貢献します。
- ・介護士による吸引等の処置拡大に対応するため、診療・看護の指導を得て、プロジェクトを推進します。
- ・臨床研修教育、看護学生教育に積極的に協力します。
- ・日本在宅医学会、在宅医療推進フォーラム等の学術活動に積極的に参加します。

4) その他

SMC居宅介護支援事業所さなだ

- ・多くの利用者に質の高い介護支援サービスを提供します。
- ・行政・医療・介護・福祉事業所との協働と連携を図り、支援チームの軸となって、高齢者が住み慣れた地域で穏やかに生活できるように支援します。
- ・主任ケアマネ体制を推進します。

通所介護事業所（湘南メディケアガーデン、デイサービスごしき）

- ・通所介護事業を安定的に進め、通所介護の事業運営体制を強化します。
- ・通所介護職員のチームワークを高め、介護職として誇りと専門性を発展させ、通所介護の質の向上を図ります。
- ・通所介護職員の資質の向上を図り、職員の成長を育み、優れた事業所に高めます。
- ・通所介護を通して、地域包括ケアのシステム作りに貢献します。

メディカルホーム・メディトピア真田の展開

- ・医療・介護・生活支援と一体となった尊厳ある暮らしを探究します。
- ・「メディトピア真田」の展開を通して、多職種・多事業所の協働と連携を強化します。
- ・メディカルホームを生かし、緩和ケアホームとして展開します。
- ・利用者に優しい、様々な企画を実現します。

管理部門

- 安定した質の高い事務サービスを実現します。
- 「おもてなし」の心を大切にします。